

2025年10月20日

横浜ゴムのグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」装着車が SUPER GT 第7戦のGT300クラスで表彰台を独占

横浜ゴム（株）のグローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN（アドバン）」装着車が10月18日（土）から19日（日）にオートポリス（大分県）で開催された国内最高峰のGTカーレース「2025 AUTOBACS SUPER GT」第7戦（3時間レース）のGT300クラスで表彰台を独占しました。これにより「ADVAN」装着車はGT300クラスでは今季通算4勝目です。11月の最終戦でも「ADVAN」の高い性能を武器にチームの足元を支え、GT300クラスで2年連続のシリーズチャンピオン獲得を目指します。

優勝したのは seven × seven Racing の「seven × seven PORSCHE GT3R（666号車／ハリー・キング選手／藤波清斗選手／近藤翼選手）」です。レースは序盤から、2位を獲得した CARGUY MKS RACING の「CARGUY FERRARI 296 GT3（7号車／ザック・オザリバン選手／小林利徠斗選手／澤圭太選手）」と3位に入った JLOC の「VENTENY Lamborghini GT3（0号車／小暮卓史選手／元嶋佑弥選手）」がトップ争いを展開。途中、セーフティカー導入やドライブスルーペナルティなどの波乱が続く中で、最後まで手堅く走った「seven × seven PORSCHE GT3R」が逆転でチェッカーフラッグを受け、seven × seven Racing として悲願の SUPER GT 初勝利を飾りました。タイヤマネジメントも勝敗を左右する3時間レースにおいて、「ADVAN」の高いパフォーマンスが表彰台独占に貢献しました。

さらに4位に KONDO RACING の「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R（56号車／ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手／平手晃平選手）、5位に VELOREX の「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（6号車／片山義章選手／ロベルト・メリ・ムンタン選手）」が入り、ヨコハマタイヤ勢がトップ5を独占する圧倒的な強さを見せました。

横浜ゴムは2024年度から2026年度までの中期経営計画「Yokohama Transformation 2026（YX2026）」（ヨコハマ・トランスフォーメーション・ニーゼロニーロク）のタイヤ消費財戦略において高付加価値品比率の最大化を掲げ、グローバルフラッグシップタイヤブランド「ADVAN」、SUV・ピックアップトラック用タイヤブランド「GEOLANDAR（ジオランダー）」、「ウィンタータイヤ」、そして18インチ以上のタイヤの拡販に取り組んでいます。その中で、モータースポーツ活動を「ADVAN」「GEOLANDAR」のブランド価値向上の場と位置付け、トップカテゴリーからグラスルーツカテゴリーまでグローバルでの多岐にわたるモータースポーツ競技に参戦しています。



表彰台を独占したヨコハマタイヤ勢。優勝したハリー・キング選手（中央）、藤波清斗選手（中央左）、近藤翼選手（中央右）。
 2位のザック・オサリバン選手（左から3番目）、小林利徠斗選手（左から2番目）、澤圭太選手（左端）。
 3位の小暮卓史選手（右端）、元嶋佑弥選手（右から2番目）



優勝した「seven × seven PORSCHE GT3R」



2位の「CARGUY FERRARI 296 GT3」



3位の「VENTENY Lamborghini GT3」



4位の「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R」



5位の「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」

このリリースに関するお問い合わせ先
 横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：池田
 TEL：0463-63-0414 FAX：0463-63-0552